

資料

3

## 現下の雇用情勢

## <基調判断>

現下の雇用情勢は、改善しているものの、一部に厳しさもみられる。新型コロナウイルス感染症や物価上昇が雇用に与える影響に留意する必要がある。

### ●有効求人倍率（受理地別）の推移

- ・12月は1.25倍となり前月と同倍であった。

新規求人数（原数値）：前年同月比 8.1%増  
：2019年同月比 9.8%減

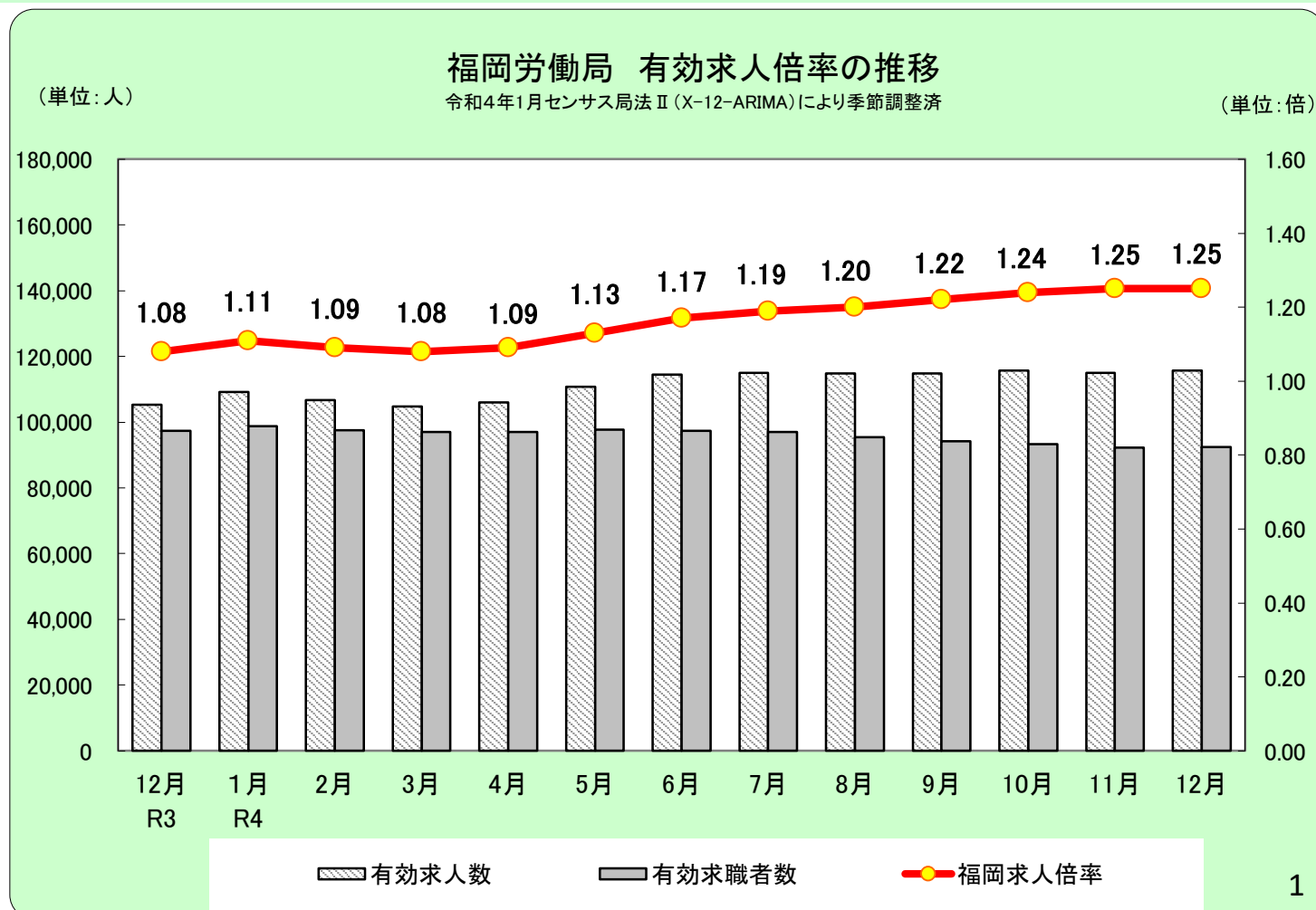
- ・直近ではR2年4月の1.26倍に迫る水準。

※過去最高1.64倍（H29.12）

※全国の有効求人倍率（季節調整値）  
1.35倍（前月±0.00P）

### ●有効求人倍率（就業地別）

- ・就業地別有効求人倍率（季節調整値）  
1.14倍（前月▲0.01P）



## ●産業別新規求人の推移（福岡）

## ＜製造業＞

前年同月比▲1.7%となり、2か月ぶりの減少。ただし、2019年比は+7.0%。ケーキやお土産物などの菓子類、半導体や電気自動車で使用する部品の一部などの電気機械器具、業務用冷凍・冷蔵設備などの一般産業用機械で求人が増加した。なお、自動車関連については、半導体の供給不足やここ数か月間の求人増の反動もあり減少した。

## ＜運輸業・郵便業＞

前年同月比+10.0%となり、3か月連続の増加。ただし、2019年比は▲16.4%。観光需要の回復でタクシーや観光バスの求人が増加した。また、貨物などの物流の動きも活発になり、通販関係も底堅く、運転手や物流センター内での商品仕分け作業などで求人が増加した。

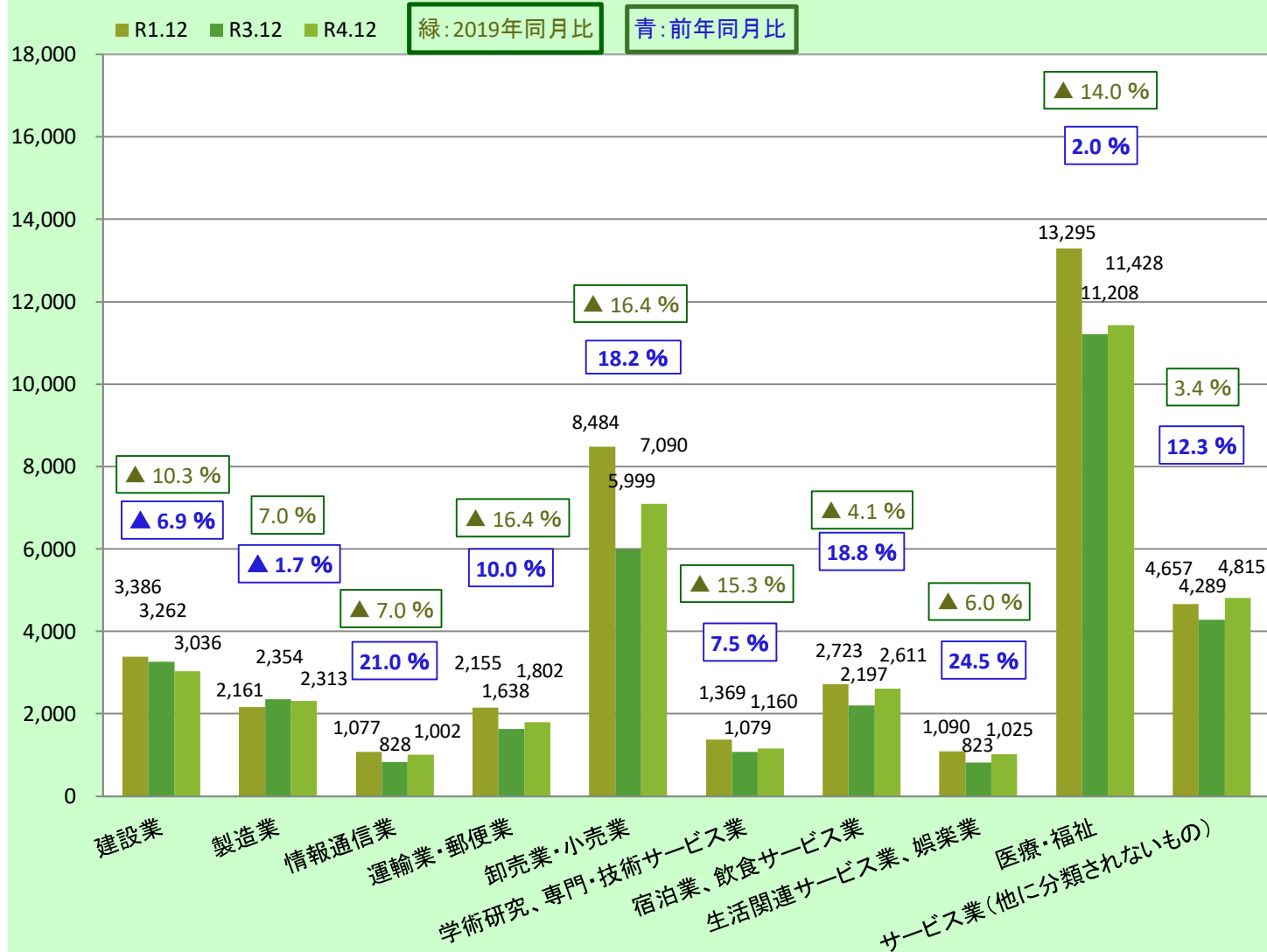
## ＜卸売業・小売業＞

前年同月比+18.2%となり、14か月連続の増加。ただし、2019年比は▲16.4%。化粧品や身の回り品などの需要が増える一方、医薬品の需要も増したこと、また、物価の上昇もあり、PB商品などの需要も高く、これらを扱う総合スーパーやドラッグストアなどで求人が増加した。

## ＜宿泊業・飲食サービス業＞

前年同月比+18.8%となり、2か月連続の増加。ただし、2019年比は▲4.1%。「全国旅行支援」や水際対策の緩和でホテルなどの求人が増加。また、クリスマスなどのイベントや新型コロナの感染拡大もあり、レストランや総菜など持ち帰り飲食サービス業でも求人が増加した。

主要産業別新規求人数



- 新規求職者（パート含む一般）は12,918人で、対前年同月比10.0%減と、4か月連続で前年同月を下回った。うち男性は対前年同月比11.1%減、女性は同9.8%減となった。また、就業形態別にみると、フルタイムは同9.8%減、パートタイムは同10.5%減となった。
- 新規常用求職者（臨時や季節労働者を除く）の就業・不就業の状態別をみると、離職者は対前年同月比で8.3%減（4か月連続）、うち事業主都合は同13.2%減（7か月連続）、自己都合は同6.5%減（2か月ぶり）となった。また、在職者は同13.6%減（6か月連続）、無業者は同8.8%減（3か月連続）となった。

## 新規常用求職者の推移（パートを含む）

	求職者数 (合計)	前年同月比	就業・不就業の状態別									
			在職者		離職者				無業者			
			前年同月比	前年同月比	前年同月比	うち事業主都合	前年同月比	うち自己都合	前年同月比	前年同月比		
30年度計	230,213	▲ 1.9	60,478	▲ 5.4	147,521	0.6	35,849	4.4	103,075	▲ 1.0	22,214	▲ 7.8
元年度計	223,840	▲ 2.8	56,119	▲ 7.2	148,010	0.3	36,306	1.3	103,007	▲ 0.1	19,711	▲ 11.3
2年度計	215,439	▲ 3.8	49,867	▲ 11.1	148,683	0.5	43,408	19.6	97,005	▲ 5.8	16,889	▲ 14.3
3年度計	221,747	2.9	57,762	15.8	144,686	▲ 2.7	35,214	▲ 18.9	99,796	2.9	19,299	14.3
3年 12月	14,301	6.6	4,378	20.0	8,769	0.0	2,042	▲ 11.5	6,215	3.9	1,154	15.2
4年 1月	20,323	12.3	6,081	21.9	12,694	7.0	2,753	▲ 8.2	9,139	11.1	1,548	24.0
2月	18,310	0.0	6,035	6.0	10,701	▲ 4.2	2,203	▲ 20.7	7,806	0.6	1,574	9.2
3月	20,751	0.5	6,205	7.9	12,217	▲ 4.2	2,532	▲ 17.1	8,893	▲ 0.5	2,329	8.4
4月	25,912	▲ 1.7	4,489	6.8	19,325	▲ 3.8	5,847	▲ 12.0	11,834	1.6	2,098	1.6
5月	20,125	20.7	4,524	24.9	13,527	15.8	3,331	12.4	9,272	16.3	2,074	50.7
6月	18,940	6.0	4,852	11.3	12,151	3.7	2,590	▲ 7.8	8,795	6.4	1,937	8.3
7月	16,498	▲ 4.2	4,073	▲ 8.0	10,959	▲ 3.7	2,559	▲ 9.7	7,792	▲ 0.5	1,466	3.6
8月	17,433	1.5	4,328	▲ 9.0	11,439	3.8	2,291	▲ 8.5	8,445	9.2	1,666	17.9
9月	17,138	▲ 3.8	4,261	▲ 9.8	11,220	▲ 3.1	2,284	▲ 9.5	8,326	▲ 0.1	1,657	10.5
10月	17,461	▲ 6.5	4,090	▲ 11.1	11,818	▲ 4.6	2,811	▲ 6.7	8,323	▲ 2.9	1,553	▲ 7.5
11月	15,771	▲ 3.1	4,073	▲ 6.9	10,294	▲ 1.4	2,285	▲ 4.4	7,423	0.6	1,404	▲ 3.7
12月	12,872	▲ 10.0	3,782	▲ 13.6	8,037	▲ 8.3	1,773	▲ 13.2	5,812	▲ 6.5	1,053	▲ 8.8

## ●九州・沖縄の有効求人倍率の推移 （受理地別）

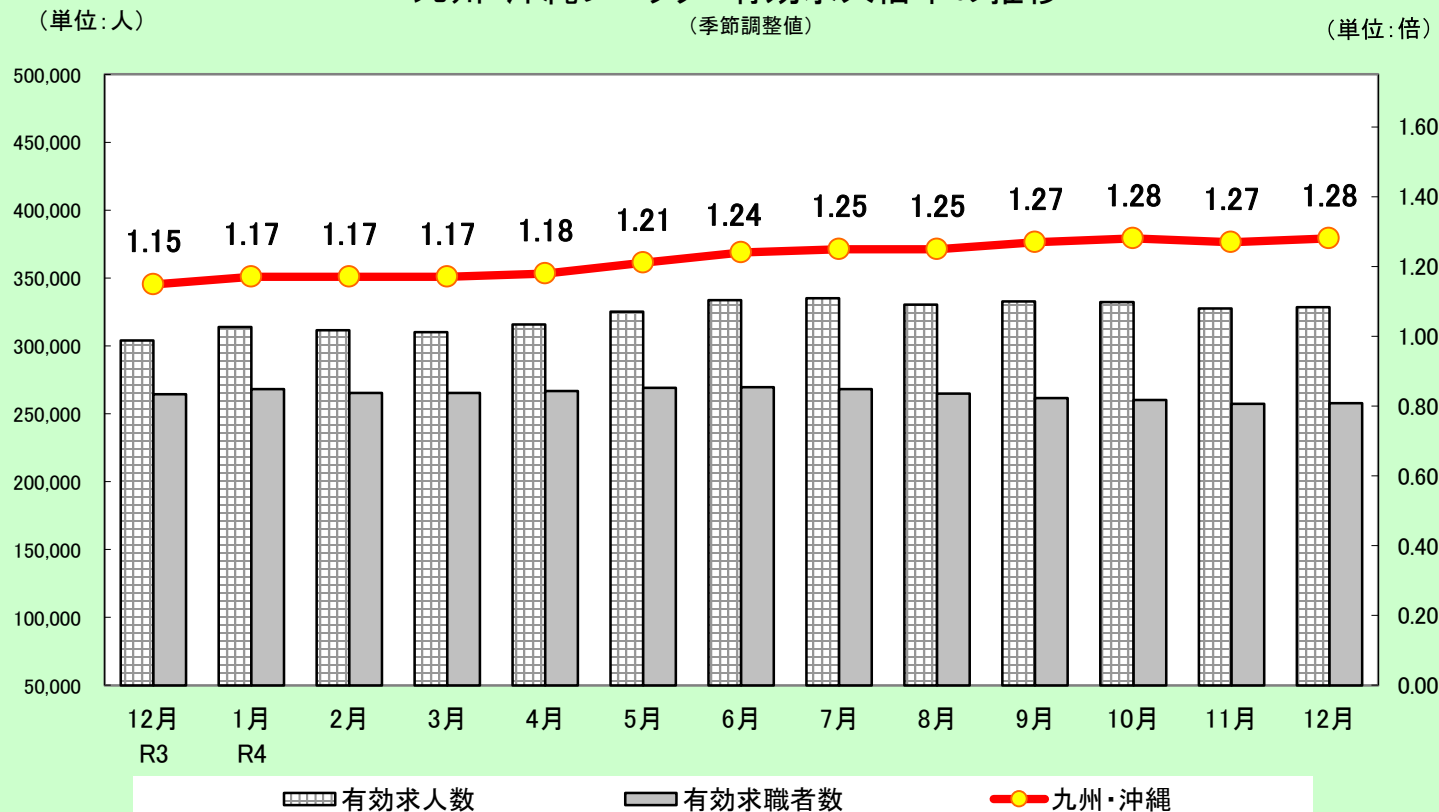
- ・12月は1.28倍となり前月を0.01ポイント上回った。

新規求人数（原数値）：前年同月比 6.4%増  
：2019年同月比 1.6%増

- ・直近ではR2年2月の1.30倍に迫る水準。

※過去最高1.50倍（H30.7）

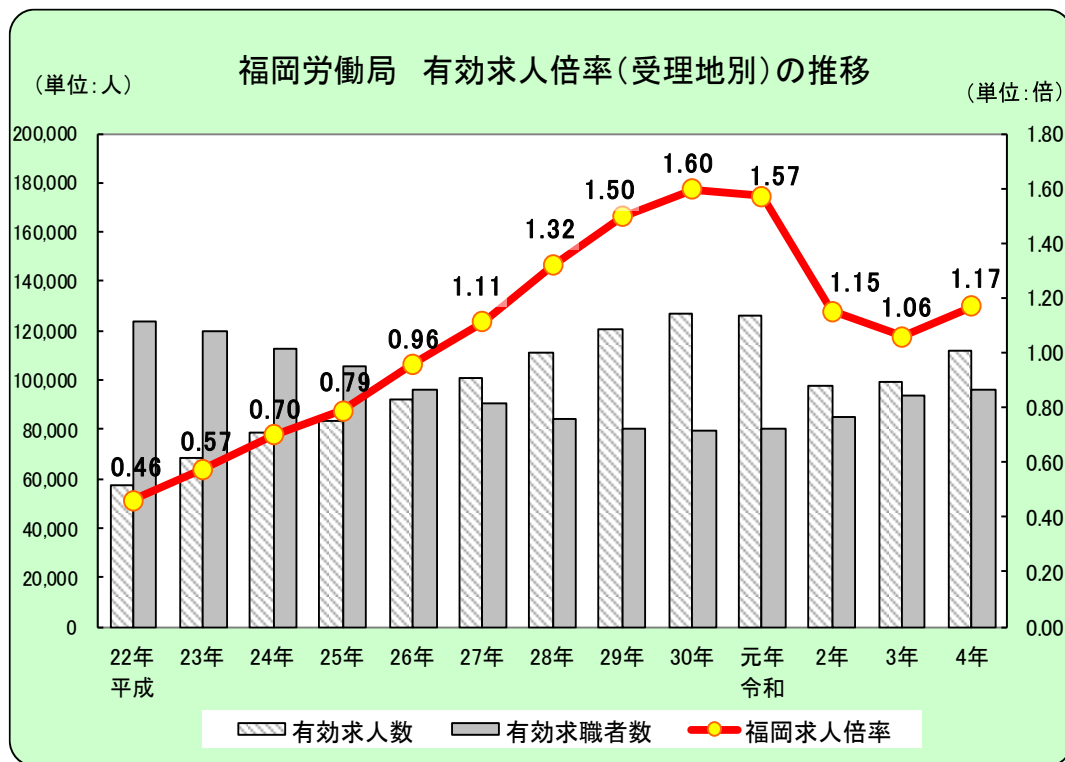
九州・沖縄ブロック 有効求人倍率の推移



福岡	1.25倍（前月差±0.00 P）	大分	1.40倍（前月差±0.00 P）
佐賀	1.40倍（前月差+0.06 P）	宮崎	1.41倍（前月差▲0.03 P）
長崎	1.22倍（前月差+0.02 P）	鹿児島	1.36倍（前月差+0.04 P）
熊本	1.38倍（前月差▲0.05 P）	沖縄	0.97倍（前月差▲0.02 P） <sub>4</sub>

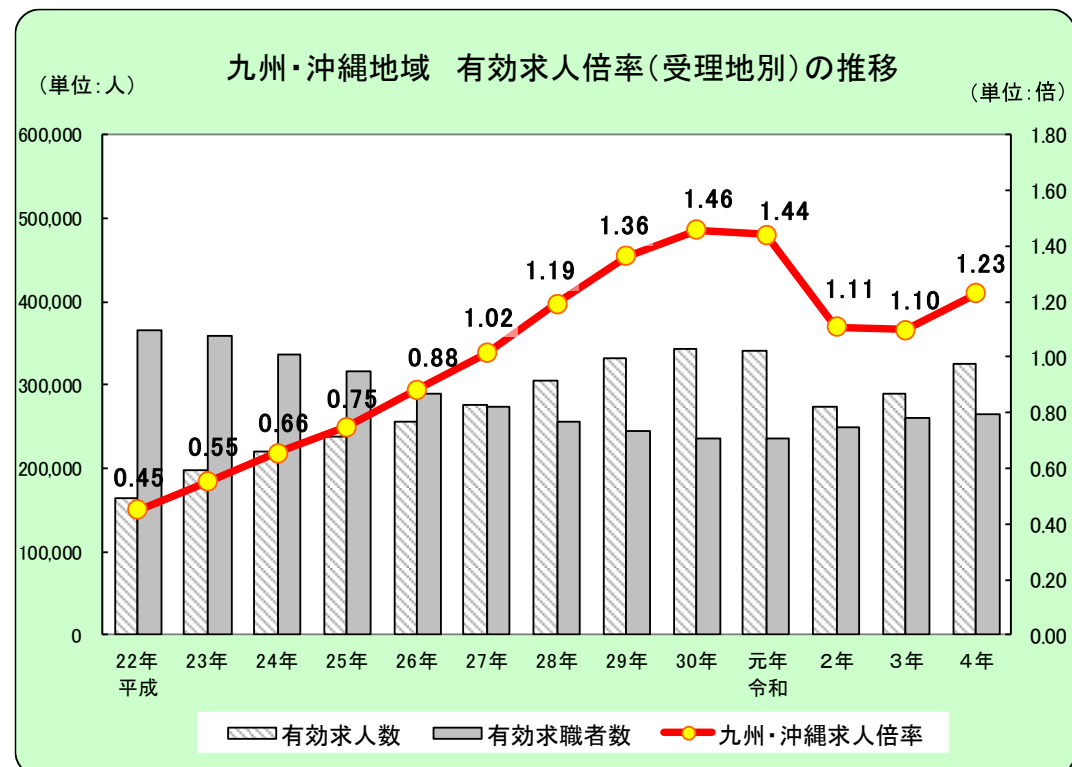
## （福岡県）

○令和4年平均の有効求人倍率は1.17倍となり、前年の1.06倍を0.11ポイント上回った。



## （九州・沖縄地域）

○令和4年平均の有効求人倍率は1.23倍となり、前年の1.10倍を0.13ポイント上回った。



令和4年	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	九州・沖縄	全国
有効求人倍率	1.17	1.34	1.18	1.41	1.35	1.43	1.35	0.89	1.23	1.28
(前年)	1.06	1.20	1.06	1.30	1.16	1.32	1.25	0.73	1.10	1.13
前年との差	0.11	0.14	0.12	0.11	0.19	0.11	0.10	0.16	0.13	0.15